



わかりやすい予算書

— ことしのよさん —

飯 豊 町

2022

目次

- | | |
|-------|----------------------|
| 01 | 動き出した若者たち 「いいで未来カフェ」 |
| 02-03 | 当初予算の概要 |
| 04-05 | 一般会計の歳入・歳出内訳 |
| 06-11 | 主要事業の概要 |
| 12-13 | 財政健全化指標 |



いいで未来カフェ2021

iide Future Cafe

出会って、学んで、語り合っ。

わたしたちの未来をつくろう！



～何もないということは、自分たちで1から
思い描いた未来を生み出すことができるということ～



動き出した若者たち

令和3年10月、高校生5名を含む町内外30名の若者が参加し、「いいで未来カフェ」が始動しました。「いいで未来カフェ」は、自分たちの「やりたいこと(Will)」、「できること(Can)」、「社会が求めていること(Need)」を掛け合わせて、プロジェクトをつくっていく出会いと学びの場です。



ビジョン&アイデアづくりなど、5回の講座を重ねながら、飯豊町の未来の物語をイメージしました。幸せな風景や成し遂げたい風景、これからの時代に必要な仕組みや意識、今後も残していきたいモノやコトのアイデアを膨らませ、若者たちは今日も語り合っています。

令和4年度は、思い描いた未来の実現に向け、若者たちは更にプロジェクトを進めていきます。

当初予算の概要



自治体の1年間の予算

予算とは、4月から翌年の3月までの1年間の収入と支出の見積もりです。新しい年度が始まる前に、その1年間でどのくらいの収入があるのか、1年間の行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのために使うお金を見積もります。予算を見れば、1年間に飯豊町でどのような収入があり、何に使う予定なのかわかります。

飯豊町の令和4年度予算

一般会計、特別会計、企業会計すべての会計を合わせた金額は、96億3,265万7千円です。

一般会計

66億3,500万円

前年度比 ▲4.2%

前年度比 ▲2億9,200万円

一般会計とは、飯豊町の行政サービスの基本的な分野、福祉や教育、道路整備などの収入と支出を管理する会計です。

特別会計

27億8万円

前年度比 ▲0.5%

前年度比 ▲1,249万円

特別会計とは、特定の目的のための会計で、特定の収入があり、一般会計とは区別して、収入と支出を管理する会計です。飯豊町では、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計など、11の特別会計があります。

企業会計

2億9,758万円

前年度比 ▲13.9%

前年度比 ▲4,813万円

企業会計は、民間企業と同じように事業収入によって運営する会計です。飯豊町では、水道事業会計があります。

予算編成の方針

令和4年度予算の歳出は、町民総合センター大規模改修事業や老朽化した公共施設の改修及び設備更新、子育て支援など住民サービスを継続していくための費用が増加しているものの、令和3年度まで実施した飯豊中学校大規模改修事業などの大型事業が終了したことから、前年度比4.2%減の66億3,500万円となりました。歳入は、地方債の発行を最大限抑制するとともに、国県支出金や財政調整基金などの各種基金を活用します。

新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立を図り、コロナ終息後の社会活動のあり方に配慮しながら、将来に向けた健全な財政運営のため、義務的経費をできる限り圧縮するとともに、機を逸することなく必要な投資を行う予算編成となりました。



令和4年度各会計予算書

予算の決め方と変え方

町長がまとめた予算案を町議会で審議し、議会の議決によって予算が成立します。町長が各課から出された案を自分の考えにそってまとめ、予算案として町議会に提出します。町民を代表する町議会は、提案された予算案を様々な面から審議した上で、議決します。

年度の途中における状況の変化などに対応するための予算を「補正予算」といいます。当初予算と同様に議会の議決を得て決まります。

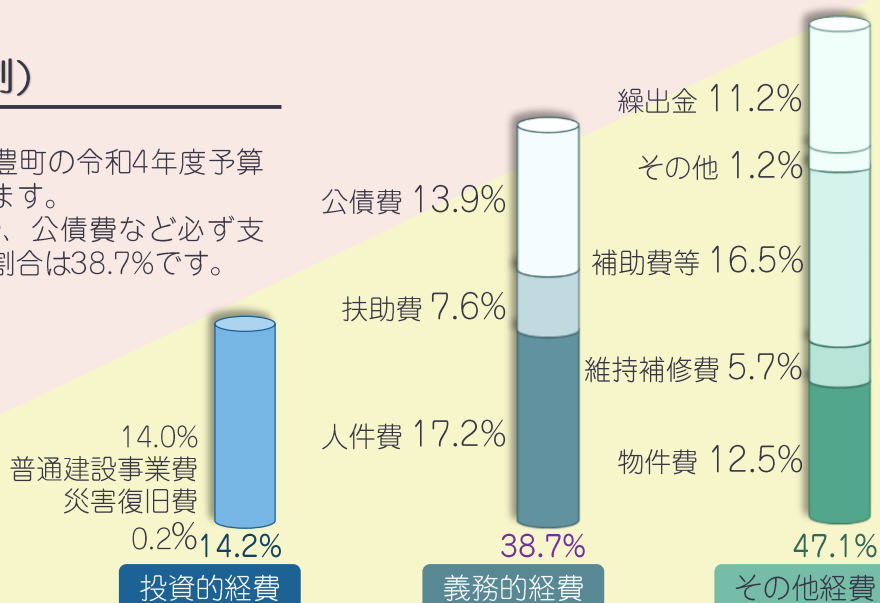


一般会計の歳出内訳(性質別)

歳出予算は性質別に分類でき、飯豊町の令和4年度予算66億3,500万円は、次のようになります。

一般会計予算総額に占める人件費、公債費など必ず支出しなければならない義務的経費の割合は38.7%です。

道路や公共施設の新増設の建設事業に必要とされる投資的な経費である普通建設事業費及び災害復旧費は、一般会計予算総額の14.2%となっています。



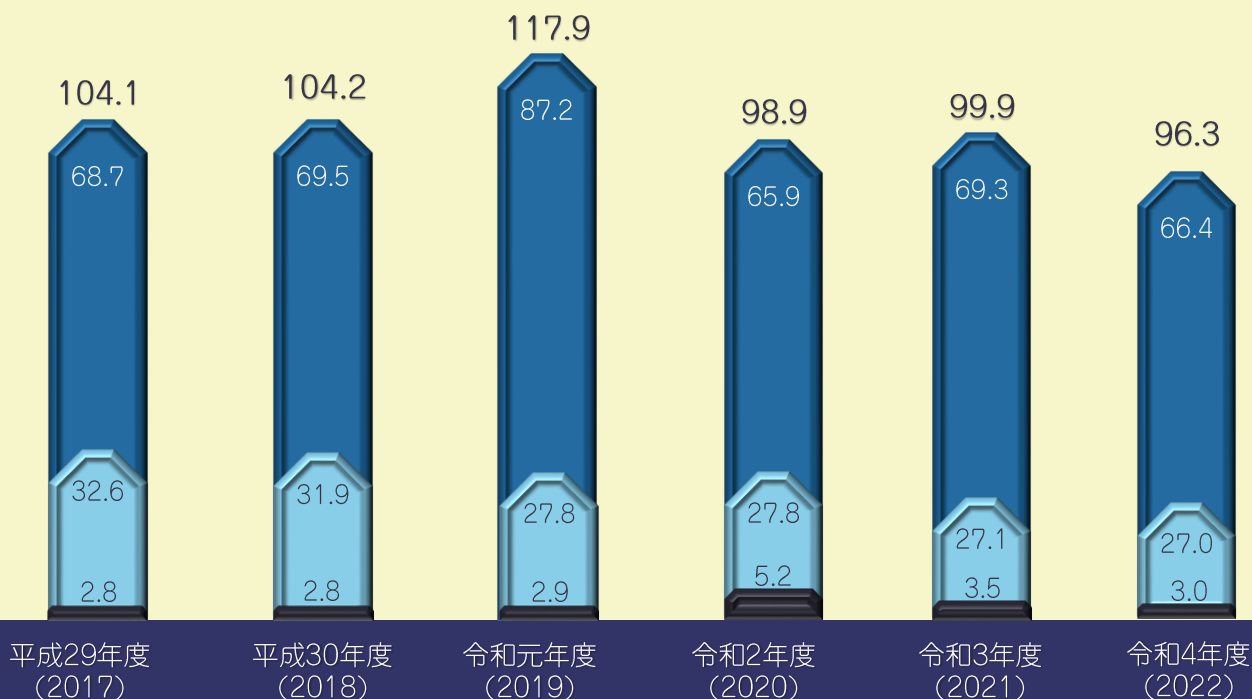
当初予算の推移

一般会計

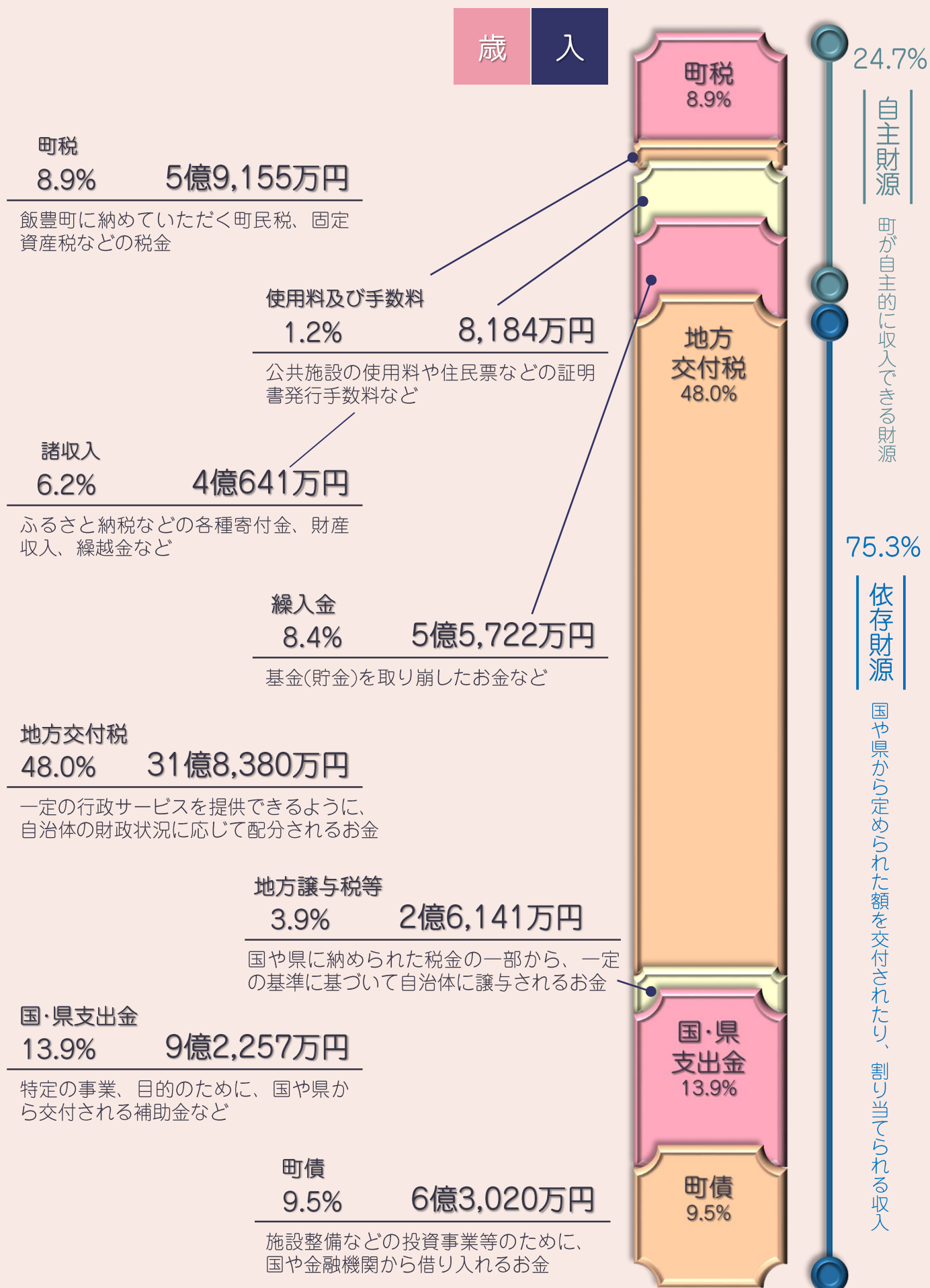
特別会計

企業会計

単位：億円



一般会計の歳入・歳出内訳



歳出

歳出を内容区分ごとに分類したものを、歳出の「目的別」の分類といい、民生、教育、土木など13の目的の歳出があります。

令和4年度は、町民総合センター大規模改修事業などの総務費が18.3%、児童発達支援施設開設事業や子育て支援医療給付などの民生費が22.6%、借入金の返済にあたる公債費が13.9%となっています。



総務費

18.3% 12億997万円

役場庁舎の管理や町有財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙など



民生費

22.6% 14億9,662万円

障がい者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、生活保護など



農林水産費

12.3% 8億1,909万円

農業、林業の振興など



商工費

3.9% 2億5,561万円

商工業・観光の振興、中小企業の支援、企業誘致など



土木費

9.4% 6億2,506万円

道路、河川の維持管理や整備、除排雪、公営住宅の管理など



教育費

8.4% 5億5,759万円

小中学校の環境整備、生涯学習、文化財やスポーツ振興など



公債費

13.9% 9億2,429万円

国や金融機関からの借入金の返済



その他

11.2% 7億4,677万円

議会運営、ごみ処理などの環境保全、消防や災害復旧費など



7,845万円

新型コロナウイルス感染症対策



令和3年4月25日、山形県独自の緊急事態宣言が解除され、その後、一定の収束をみせていた新型コロナウイルス感染症は、令和4年に入り、県内で連日3桁の新規陽性者が確認され、これまでにない急激な感染拡大となりました。

これ以上の感染拡大及び保健医療体制のひっ迫を防止し、社会・経済・文化活動を維持するため、県内6市町を対象地域として、令和4年1月27日から2月20日までの間、まん延防止等重点措置が適用されました。2月3日からは、米沢市及び高畠町が対象地域に追加され、本町小学校及び中学校でもクラスターが発生するなど、一層の感染防止対策が必要な状況が続いています。



新型コロナワクチン接種については、12歳以上でワクチン接種を希望するほとんどの方が2回の接種を完了しています。

令和4年2月1日からは、町内医療機関での3回目のワクチン接種を開始し、3月20日からは集団接種を開始しました。

令和4年度予算には、新型コロナウイルスワクチン接種に係る関連費用を約3,456万円計上しています。医師や看護師の確保、接種場所の整備、副反応の状況などまだまだ課題があるものの、国や県と連携を密にしながら、円滑な接種体制整備を行います。

その他には、新型コロナウイルス感染症の影響により経営に支障が生じた中小企業を支援するために設置した飯豊町中小企業緊急災害等対策利子補給基金の積立金を財源にした利子補給金約1,200万円や、小中学校の教師の負担軽減による学校教育の充実のため、各校の清掃業務委託約200万円などを継続して実施します。



*新型コロナウイルス感染症対策については、補正予算を計上し、感染防止対策、生活支援対策、経済対策などに取り組む予定です。

新型コロナウイルス
ワクチン接種
コールセンター

☎ 0120-567-445

町健康福祉センター内に、新型コロナウイルスワクチン接種に関する相談のためのコールセンターを設けています。



町民総合センター「あ～す」



人をはぐくむまち

3億円

町民総合センター「あ～す」改修事業

平成3年度にオープンした町民総合センター「あ～す」は、施設本体や電気、設備等の老朽化が顕著であることから、より快適な環境で長く使い続けるために大規模改修を行います。令和3年度に設計業務を完了し、令和4年度と令和5年度の2か年で改修工事を実施します。工事期間中は、施設の利用を制限しなければならないこともあります。



世代をつなぐまち

9,000万円

児童発達支援施設開設事業

特別な支援を必要とする子どもの支援施設が町内にはなく、現在は近隣市町の施設を利用しています。

民設民営方式での児童発達支援施設建設に向けて、民間事業者へ建設費用を補助します。施設は、萩生地内に建設される予定です。



可能性をひらくまち

727万円

飯豊・農の未来事業

平成27年度に開始した「飯豊・農の未来事業」は8年目を迎えます。6次産業化の推進や稲作から土地利用型作物への転換として、家畜用飼料となる子実用トウモロコシの栽培、飯豊産小麦の活用など、持続可能な農業の実現に向けて取り組めます。

主要事業の概要



郷土をたがやすまち

4,930万円

消雪設備改修事業



特別豪雪地帯に指定されている飯豊町。道路の除雪は、機械による除雪のほか、消雪設備による融雪があります。本町の消雪道路の延長は約10km。消雪設備のほとんどが、昭和50年代に整備されており、井戸ポンプの揚水機能の低下やノズルの目詰まりなど老朽化による不具合が発生しています。安全・安心な住民生活を確保するため、消雪設備改修に取り組みます。



郷土をたがやすまち

302万円

東北SDGs未来都市サミット

令和2年1月、東北地方で「SDGs未来都市」に選定された飯豊町、宮城県東松島市、秋田県仙北市、岩手県陸前高田市、福島県郡山市による「東北SDGs未来都市サミット・シンポジウム」が仙北市で開催されました。

令和2年度と令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催を見送ってきましたが、令和4年度に本町を会場に開催する予定です。現在は、米沢市や鶴岡市などが加わり、「SDGs未来都市」は、東北地方に計12都市選定されています。

持続可能な地域づくりとは何か。「誰一人取り残さない」をキーワードにした世界共通の目標SDGsを達成するために、私たちができることはたくさんあります。



前回(令和2年)の東北SDGs未来都市サミット



郷土をたがやすまち

267万円

議会ペーパーレス会議システム



町議会には、年4回の定例会と必要に応じて招集される臨時会があり、年間10回程度開催されます。議案審議には、様々な資料が必要となり、これまでは、紙文書を手に置いて審議してきました。

SDGs未来都市として、紙資源削減による環境保護だけでなく、紙代や印刷代の削減、それに伴う人件費の圧縮などを目的に、議会運営におけるペーパーレス化に取り組みます。



郷土をたがやすまち

3,600万円

バイオマス地産地消対策事業

令和2年9月、「ながめやまバイオガス発電所」が完成し運転が開始されました。添川地内(眺山)で民間事業者が取り組む事業です。

メタンガス生成過程で生成される液体残渣は、有機肥料として再利用されます。地域の方が無償で利用できるよう液肥スタンドも設置されています。令和4年度は、県の助成を活用し、液肥の散布体制を確立します。



ながめやまバイオガス発電所に隣接する液肥無償スタンド



郷土をたがやすまち

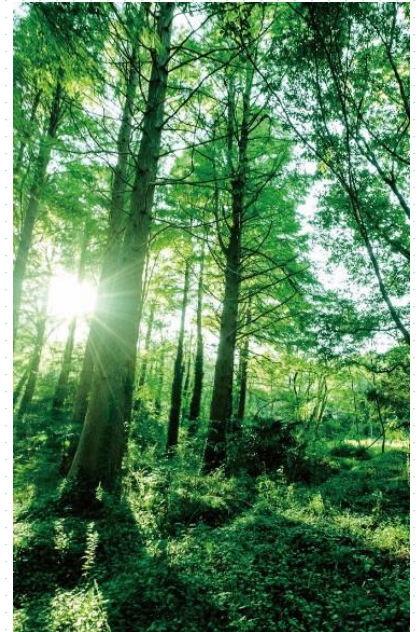
2,639万円

森づくり支援・森林整備

森林環境譲与税や山形県みどり環境税を活用し、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の両立を図ります。

森林の保安全管理や計画性を持った資源の有効活用、荒廃した森林の整備、里山の下刈りなどにより、人と野生鳥獣の生活圏を分ける緩衝地帯を整備し、有害鳥獣や森林病虫害による農林産物被害の抑制を目指します。

バイオマス産業都市として、木質バイオマス燃料の供給体制確立、公共施設等でのバイオマス燃料への転換などを進めていきます。



郷土をたがやすまち

2億3,909万円

除排雪事業(道路、高齢者支援)

冬期間の道路交通を維持するため、道路の除雪や消雪を行い、安全・安心な生活を確保します。

高齢者世帯等には、除雪ヘルパーの派遣等を通じて支援していきます。

主要事業の概要

縁をつむぐまち

2,199万円

地域おこし協力隊による地域力強化



地域おこし協力隊4名が、SDGs普及、ゼロカーボン推進、移住定住コンシェルジュ、アウトドア体験旅行の企画・実施などの活動を行っています。本町の良さを発信しながら、地域力を向上させる若い力が町を盛り上げていきます。

縁をつむぐまち

7,466万円

ふるさと納税事業



いいでめざみの里応援寄附金(ふるさと納税)により全国各地の多くの方から応援いただいています。いただいた寄附は町の貴重な財源になるだけでなく、本町を知ってもらい、この縁を大切にしていきます。

世代をつなぐまち

6,183万円

母子保健、子育て支援医療給付



県内でも早い段階から実施してきた年齢18歳までの医療費の無料化や、重度心身障がい児やひとり親家庭等の医療費助成、保育料の軽減、出産支援給付など、子育て世代等の経済的負担軽減を図っていきます。

縁をつむぐまち

716万円

アンテナショップIIDE運営事業



アンテナショップIIDE

平成26年度に杉並区高円寺にオープンした「アンテナショップIIDE」。本町産の美味しいつや姫で作る「おにぎり」販売を中心に、全国へPRしています。コロナ禍に対応し、総菜のテイクアウト販売が好調です。

ご紹介した事業以外にも、飯豊町ではたくさんの事業を展開しています。

人をはぐくむまち

822万円

地域づくり推進事業



第5次飯豊町総合計画「地区別計画」の目標実現に向けた支援や、地区間で連携して行う事業(地区間連携枠)、新たに何かをやってみみたい団体等への支援(全町枠)など、地域づくり活動に対し支援していきます。

縁をつむぐまち

527万円

老朽危険空き家対策



イメージ写真

本町のみならず、全国的な課題となっている老朽危険空き家。平成30年度に策定した「飯豊町空き家等対策計画」に基づき、空き家の適正管理と利活用を促し、老朽危険空き家の解体に向けた対策を進めます。

人をはぐくむまち

2億6,815万円

認定こども園運営費



令和4年4月から、飯豊町つばき保育園が飯豊すくすくこども園に移行し、町内に認定こども園が2つとなりました。幼保連携型認定こども園として、幼児教育と保育を兼ね備えた子育てを行っていきます。

縁をつむぐまち

110万円

全国道の駅シンポジウム in飯豊

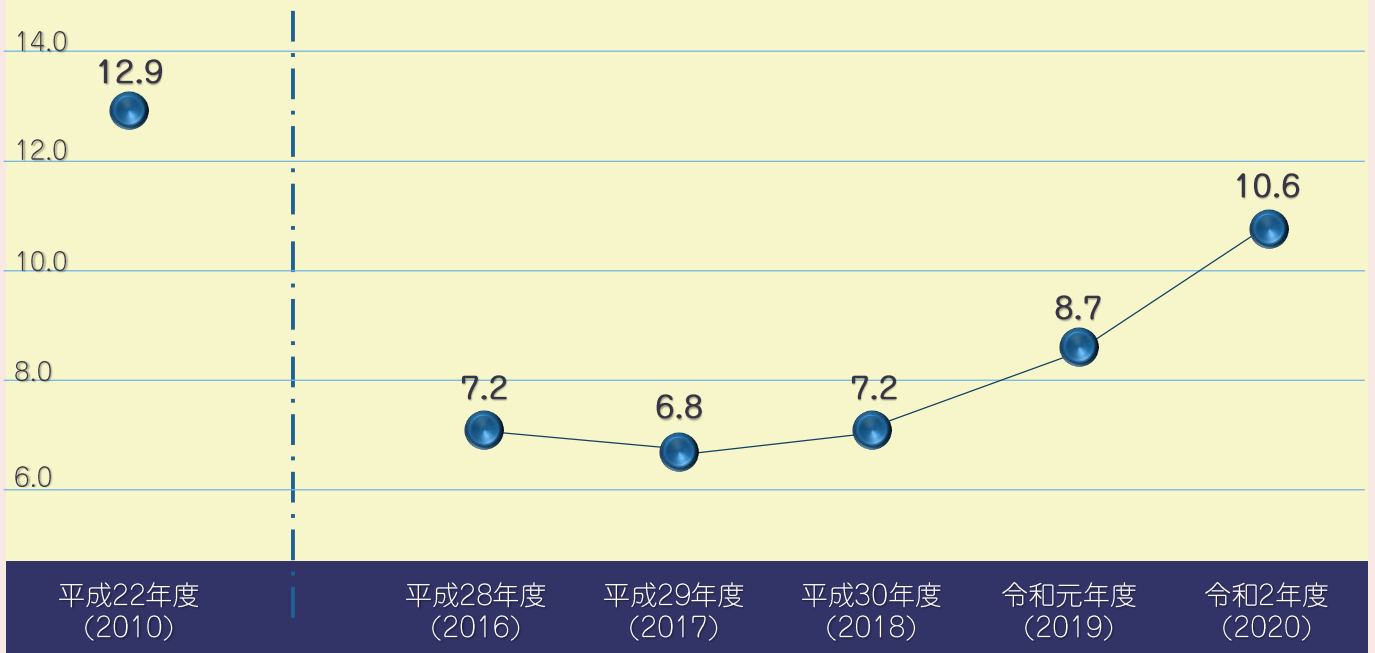


めざみの里観光物産館

全国道の駅シンポジウムが、本町で開催される予定です。各地の活動や取り組みなどを共有し、今後の道の駅の経営に生かしていきます。道の駅「いいで」は、令和3年6月に国土交通省から「防災道の駅」に選定されました。

実質公債費比率

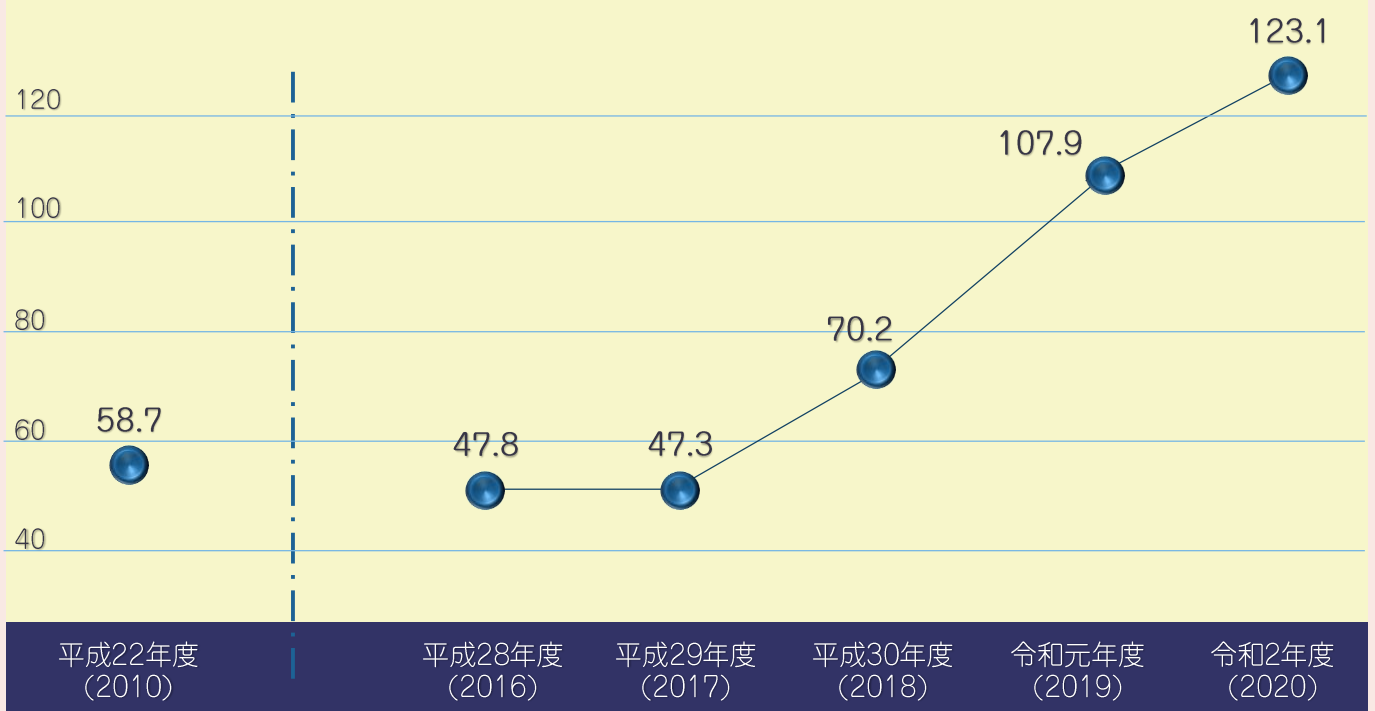
単位：%



実質公債費比率は、一般会計等が負担する地方債の元利償還金(町の借入金の返済金)などの標準財政規模に対する比率です。この指標が18%を超えると起債(借金)をする際に知事の許可が必要となり、25%を超えると一部の起債が制限されます。平成22年度は12.9%、令和2年度は10.6%です。

将来負担比率

単位：%



将来負担比率とは、地方債や職員の退職金など、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。この比率が高い場合、将来これらの負担額を実際に支払う必要があることから、今後の財政運営が圧迫されるなどの問題が生じる可能性が高くなります。平成22年度は58.7%、令和2年度は123.1%です。

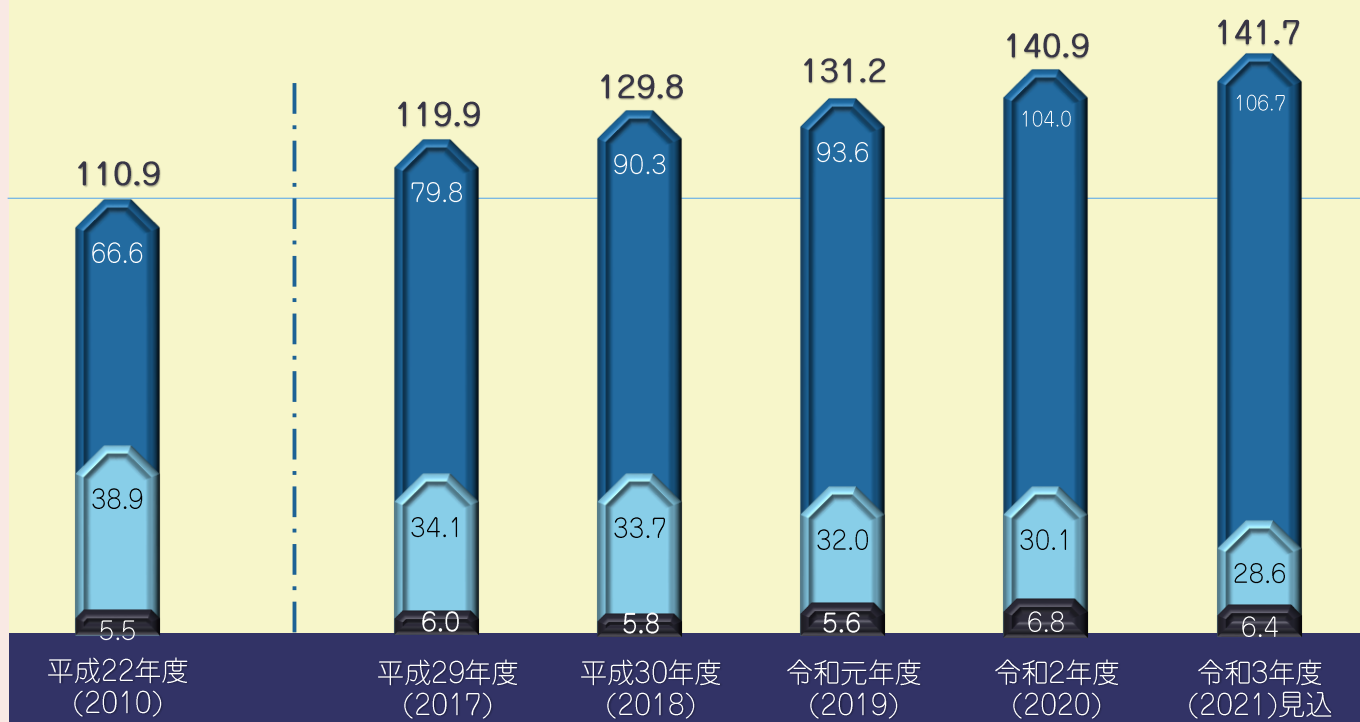
町債残高

一般会計

特別会計

企業会計

単位：億円



町債は、大きな事業をするときに、国や金融機関等から借りる資金です。道路や建物などは、たくさんの方が利用することから、その年の予算だけで賄うのではなく、将来の町民の方にも費用負担いただく「負担の公平化」も、町債を発行する理由の一つです。平成22年度は約110億9千万円。令和3年度は約141億7千万円になる見込みです。

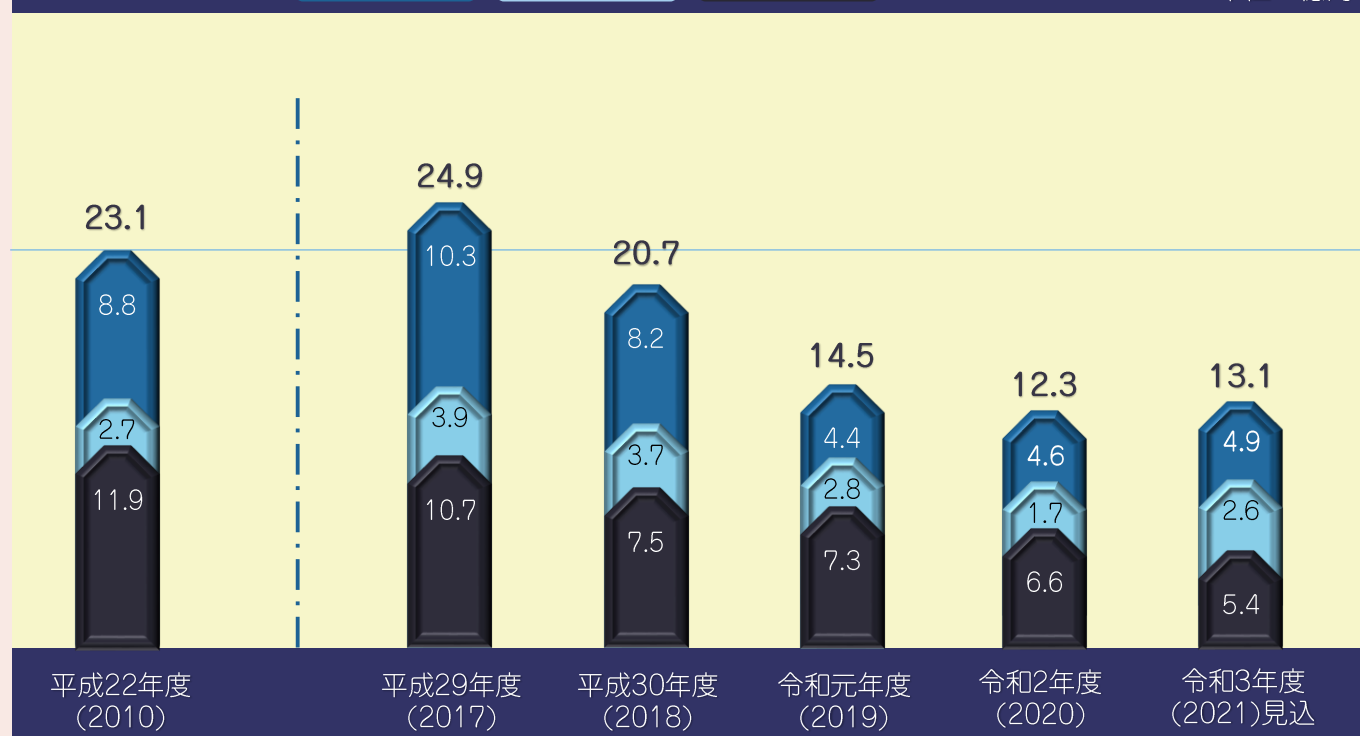
基金残高

財政調整基金

減債基金

その他基金

単位：億円



基金とは、特定目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設ける財産です。家庭で言えば貯金です。年度間の財源不足に備えるための「財政調整基金」、町債の償還(借金の返済)に必要な財源を確保し、財政の健全な運営を行うための「減債基金」などがあります。平成22年度は、約23億1千万円。令和3年度は約13億1千万円になる見込みです。

わかりやすい予算書
飯豊町 2022



〒999-0696
山形県西置賜郡飯豊町大字椿2888番地
TEL (0238)72-2111

飯豊町はNPO法人
「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています



the most beautiful
villages in japan

飯豊町
山形県